

使い捨てプラのことみんなで見えてみた

ISONO
いその株式会社

プラスチックリサイクル
の最前線！
「いその」の取り組み



いその って？



「いその」は、プラスチックを専門に
リサイクルを行っています。

1957年の創業以来、プラスチックを専門に扱う
リサイクラーとして「再生プラスチック」を生産してきました。

実際にどんなプラスチックが
リサイクルされてるのか、取材してきました！

いその が取り組むプラスチックリサイクルって？



特徴 1

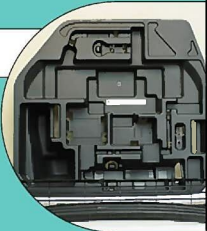
車から車へのリサイクル

自動車の多くの部品には、プラスチックが使われています。いそのは、自動車メーカー、解体業者、破砕業者などと連携することで、車からポリプロピレンの部品を取り出しています。

特徴 2

質の高いリサイクル材を生産

回収したポリプロピレンは、いその の工場で粉砕・洗浄、混入した金属を除去して粉末状にします。そうして、異物が少ない、純度の高いリサイクル材をつくることができます！



車以外にもリサイクルしています。



特徴 3

ペットボトルキャップをリサイクル

地域のスーパーを運営するユニーと連携して、ペットボトルキャップのリサイクルも進めています。捨ててしまいがちなペットボトルキャップは、実は質の良い資源なんです。



地域の方から直接持ち込みがあることも

地域の学校や一般企業、さらに個人から直接ペットボトルキャップの持ち込みもあるんだそう。

名古屋市からの持ち込みもあるそうなので
リサイクルに貢献してみたい！

リサイクルされた後どうなるの？



車の部品に

純度の高いリサイクル材を作っているからこそ、自動車の部品にも使えるんです。安全性が重要な自動車だからこそ、性能の高いリサイクル材が必要です。

植木鉢や椅子の部品に！

植木鉢や椅子の背もたれ、サインペンなどの文具のプラスチック部品などに使用されています。



プラスチックにも様々な種類があります。その素材を混ぜないで分別して作ることで、より性能の高いリサイクルプラスチックが生まれるそうです！

プラスチックリサイクルの手順って？



洗浄して細かく砕く

まずは工場できれいに洗浄したあと、バラバラに粉砕します。



均等に混ぜる

粉砕されたプラスチックを巨大なタンクに入れて回転させ、均等に混ぜるようにします。



高熱で溶かして冷やす

高熱でドロドロに溶かしたものを機械で細く押し出して、水で冷やして固めます。固まったものは、3mmぐらいの長さに切っていきます。これがプラスチック製品の材料になります！

いその が取り組んでいることまとめ

プラスチックのリサイクル

回収したプラスチックを、より性能の高いリサイクル材に再生しています

再生プラスチックを広める

プラスチックを回収する事業者や、再生プラスチックを使用してもものづくりを行う企業を繋げています

企業からのメッセージ

ラベルのない「ラベルレスペットボトル」のような、単一の素材でできているものはリサイクルしやすいんです。ぜひそういう設計の商品を選んでみてください。

また、使ったあともしっかり分別して出すことでリサイクルも進むので分別も進めていきましょう！